

## 令和3年度事業報告

昨年度に引き続きまん延防止等重点措置や緊急事態宣言への対応を図ったことから、8月から9月にかけてほぼ二か月（8月2日から9月30日）の休館を余儀なくされるなど、多難な一年でしたが、「コロナ禍で生まれた社会変化への対応」と「コロナ禍で思うに任せなかった前年度計画案の継承」に留意しつつ、十分な注意を払いながら個々の事業の推進を図りました。

### I. 特定非営利活動に関わる事業

#### 1 交流促進事業

##### (1) 自主企画事業

講義形式の事業は開催が可能だったものの、歌唱や演芸関係事業は三密回避ならびに施設の定員削減等の制約のため開催を見送らざるを得ず、今後課題を残しました。

なお講義形式の大型事業である「区民講師公開講座」（登録数全16講座）は一部講師の希望で中止・延期が出たものの実施の運びとなり、また「Word & Excel表計算塾」（全6回）は感染症対策のもと2カ月開催をずらして実施することができました。

さらに第12回（2022年度）「区民講師公開講座」の講師募集を行い、20講座（20講師）の開催（令和4年4月～8月）が決まりました。

事業の後援に関しては申請がありませんでしたが、受託事業ではありますが「市民活動団体発表会」のビデオ撮影による市民活動の公開等を通じて、支援・後援の新機軸を打ち出せたと考えています。

##### (2) 麻生市民交流館やまゆりの運営と貸室事業・印刷機事業

年度	会議室（回数）			印刷（枚数）		利用者数 （人数）	利用登録 （団体数）
	平日	（夜間）	土日・祝	製版	印刷		
令和3年	629	104	334	2,025	300,120	8,132	707
令和2年	616	155	145	1,170	153,846	5,316	749
令和元年	1,223	408	458	3,683	539,362	19,348	671
平成30	1,328	442	502	4,126	652,608	20,270	636
29	1,291	397	501	4,613	730,577	20,400	659
28	1,222	359	456	5,357	760,851	22,347	667
27	1,254	379	458	5,639	865,167	21,963	647
26	1,223	372	463	5,967	918,786	23,250	619
25	1,089	236	397	6,908	1,014,658	22,125	596
24	1,016	181	340	5,405	945,540	21,309	576
23	1,022	158	359	5,212	952,152	20,813	542
22	946	149	336	5,074	930,486	20,185	510
21	935	96	316	5,299	964,275	18,897	466
20	874	118	149	5,212	802,303	16,821	421

- ① 麻生市民交流館やまゆり利用実績（貸室事業ならびに印刷機事業の実績）については前頁の表を参照願います。

緊急事態宣言により2か月にわたる休館を余儀なくされたことによる稼働日数の減少や、まん延防止等重点措置に対応した利用定員の削減等による利用の落ち込みが顕著となりました。

また新型コロナウイルスオミクロン株の蔓延に伴い、利用者側の活動自粛による予約キャンセルも多く、利用の落ち込みに拍車をかけました。

印刷機事業は、コロナ禍による市民活動団体の活動そのものが停滞したと思われること、ならびにネットによる低廉な事業者との競合が増加していることなどにより利用の減少が続いていると分析しています。
- ② 組織としての機能強化に関連する事項は次の通りです。
  - (ア) 休館のためにひと月遅れとなったものの、運営スタッフの定期募集を実施。9名（男性5名、女性4名）の応募があり、既にスタッフとして活躍中。
  - (イ) 運営スタッフミーティングは、午前の部、午後の部の二部制を採用し予定通り4回開催。
  - (ウ) やまゆりテックは昨年度導入した映像機材を運営スタッフミーティングに活用しつつ機材の操作習熟を進め、2月の「市民活動団体発表会」のビデオ撮りを実施。編集後、やまゆりサロンの大型モニターを利用して公開予定。編集負荷を減じる技能を開発中。
- ③ 運営に関わる諸規程・内規等の見直し等については次の通りです。
  - (ア) 活動費に関わる規程の見直し
    - (イ) コロナ禍対応に即した入館定員の変更に関する考え方の整理
    - (ウ) 全館予約での館内利用域の見直し
- ④ 理事用共有ドライブ設定や Excel の一層の活用などの業務支援策については次の通りです。
  - (ア) 共有ドライブの設定に関しては、外付けHDD/SSDやクラウドストレージの研究に止まったが、PCのデータバックアップ用のドライブ設置が急務との結論。
  - (イ) Excelの活用については、ICT委員会と経理担当理事の努力で「活動費」の申請システムを完成させ、上期では自動計算のフォーマットを作成。下期では活動者それぞれへの名寄せと支給表作成までの自動化を完成。
- ⑤ 運営スタッフを退いた方々の交流・活動の場の拡大については、コロナ禍のもとで不安定な要素が多く、交流の場を設けたり活動の機会を増やしたりすることができませんでした。

### (3) コミュニティー事業

年度当初「やまゆり」のサーバー利用は26団体でしたが、新規に2団体から利用の登録がありHP作成と運営についてレクチャー等を実施しました。

## 2 市民活動推進事業

### (1) 受託事業（川崎市委託事業）

- ① 「目指せ！アクティブ・シニア講座」（1月15日から毎週土曜日全5回、コロナ禍による辞退者2名が出たものの、最終受講者は企画委員を含め14名）、「市民活動団体発表会」（2月13日6団体参加）は無事開催することができました。一方「カフェ・グランデあさお」のワークショップに参加する形で開催予定だった「ビバ！あさおの子どもたち」は、「カフェ・グランデあさお」がワークショップを中止したため開催を見送らざるを得ませんでした。
- ② 市民活動相談窓口の運営に関する事項は次の通りです。
  - (ア)市民活動団体検索サイトの登録情報の更新作業を、麻生市民館、麻生区社会福祉協議会と共同で実施。
  - (イ)相談窓口として14名の相談員が担当し、活動団体や活動の場の紹介を継続的に実施。
  - (ウ)「やまゆりプロモーション」のパイロット版に続き、正規版を完成。「やまゆり」ホームページにPDF版を掲載。
- ③ 広報活動に関する事項は次の通りです。
  - (ア)あさお区民記者クラブは記者の減少に悩まされつつも「やまゆりニュース」「あさおふれんず」を予定通り各紙4か月毎の発行、合計年間6号を発行。
  - (イ)「マイタウン」「タウンニュース」「かわさき市政だより」など既存メディアによる広報を実施。
  - (ウ)HPの運営やインフォメーションボードによる広報も積極的に実施。
- ④ 「希望のシナリオ」への取り組みに関しては、主としてHP(まちのひろば)の運用管理を実施しました。運用報告、運用仕様書の作成、サイトポリシーと個人情報ポリシーの作成と掲載、アクセス状況調査のためのプログラミング、レンタルサーバーとドメインネームの契約継続と費用の支払などを実施しました。

### (2) 麻生区地域コミュニティ活動支援事業

昨年度2月から募集開始、6団体が応募。審査を経て、「あさお和風の会」「岡上アグリ・リゾート」「こどもしんぶん部」「平和を願う会」「音楽ユニット Pentas」の5団体が支援を受けることになりました。助成金は4月中に支給済みです。

## II. その他の事業

### 1 自動販売機事業

自動販売機事業については「活動計算書」の説明をもって報告にかえさせていただきます。

### 2 会員交流事業

「納涼祭」と「会員の集い」を計画しましたが、多くの参加者が見込まれる事業であるため、コロナ禍の出口が見えない中での開催は困難となり、今年度は開催を見送らざるを得ませんでした。

以上